

元気な歌声が響いた合唱祭

先週の金曜日は合唱祭が行われました。中学校生活初めての合唱祭でしたが、どのクラスも元気よく一生懸命歌う姿が素晴らしかったです。練習中は上手いかないこともありましたが、文化行事委員、パートリーダー、指揮者、伴奏者を中心に工夫しながら自分たちで練習を進めることができました。

自分たちで行事を作り上げるためには、リーダーだけではなく一人一人が自分にできることを精一杯全力でやるのがとても大切です。最初はばらばらだった歌声がだんだん合うようになり、素晴らしい合唱に成長していく過程を見守りながら、青学年の団結と成長を深く感じた合唱祭でした。

合唱祭の作文紹介（A組）

「 最高の日 」

A組

私は中学校に入学して2回目の行事、合唱祭をすごく楽しみにしていた。

はじめはクラスのみんで歌を歌って終わりだと思っていた。でも実行委員としてアンケートをとったり、曲を決めたりしていくうちにすごく不安になった。でも、ほかの実行委員の人と協力して準備を進めた。音楽の授業などでパートリーダーと協力していくうちに少しずつ自信がついた。

放課後練習が始まったときは、何をすればいいのかわからなかった。パートリーダーや先生に頼っていた。でもだんだんみんなの声を聞いているうちに声が小さいことやテンポが速くなったり、直すところが分かった気がした。そこからは自分から改善点を言ったり、どんな練習をするのか指示することができた。

そして1年生のリハーサルでは、練習の時よりも声が小さくなったり、まだまだ直すところはたくさんあった。そこからはたくさん練習して改善していった。

そして、合唱祭本番。1年生が最初ですごく緊張した。ちゃんと声が出るか、テンポがずれないか。でも、みんなで団結して指揮者と伴奏者と息を合わせて歌うことができた。私は全力で歌いきることができてうれしかった。

でもやっぱり先輩達はすごかった。全員息ぴったりでびっくりした。私も来年にはこれくらいすごい合唱にしたいと思った。

そしてついに結果発表。まさかのA組は最優秀賞だった。私はすごくうれしくて周りの友達と思わずハイタッチしてしまった。これまでたくさん練習して実行委員として大変なこともあったけど頑張ってよかったなと思った。来年も頑張りたいと思った。



「 合唱の主役 」

A組

指揮者の手が拳をつくり、ゆっくりと下がった。初めての合唱祭が終わったのだ。

A組は最優秀賞を獲得し、合唱祭を大成功させることができた。このような結果を得ることができたのは、A組全員の力によるものだった。

A組はもともと、団結力が強く仲の良いクラスだ。練習でも、実行委員やパートリーダーに任せきりではなく、全員が協力して意見を出し合ったりできていた。最優秀賞をとることができたのは全員が合唱にしっかり向き合い、自分にできることを精一杯やれていたからだ。

あのときあの舞台上で主役だったのは、指揮者でも伴奏者でもなく、そこにいたA組全員だった。私は確かにそう確信している。

このメンバーでもう一度合唱祭をおかえることは二度とない。だからこそ、悔いのない合唱をすることができたのが本当によかった。来年は歌うメンバーも変わり、今までようにはいかなくなるかもしれない。

だが、それでも今年のことを胸をはって思い出せるような思い出にできた。それだけでたまらなく嬉しい。

